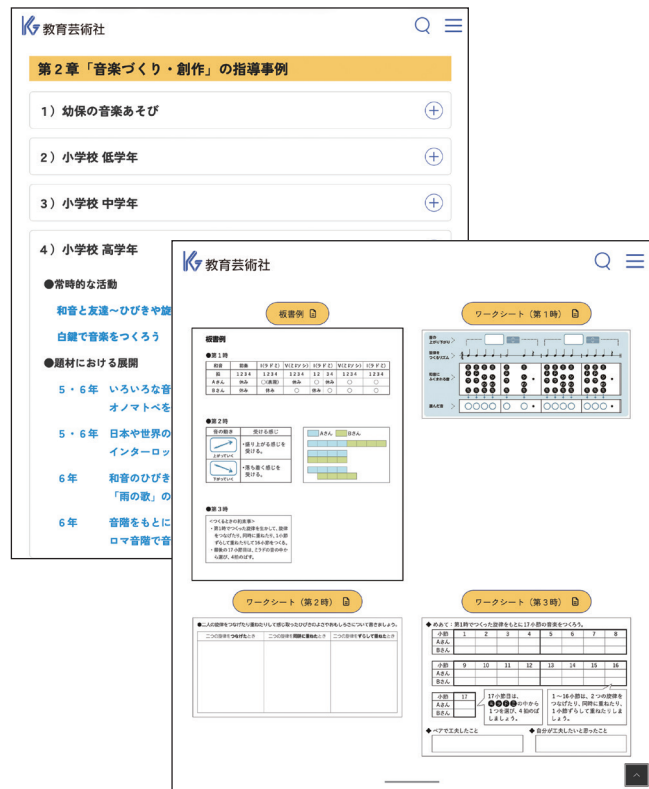


③書籍と連携するWebコンテンツも充実

▶各事例内で紹介されているワークシートやICT関連の素材データの一部は、書籍と連動するWebページからダウンロードすることができます。



▶「常時的な活動」の事例については、活動内容をふくらませて、一つの題材として取り上げる際のポイントなどをまとめた資料を公開しています。



※紹介している画面や内容については、変更される場合があります。

本書は、「音楽づくり・創作」の学習について、現代的な課題を解説したり、幼稚園・保育園から高等学校までのさまざまな事例を掲載したりしています。

「音楽づくり・創作の学習は難しい」「どう学習し、何をよしとするのか」といった悩みも解決できる内容です。また、評価の在り方をもっと考えたい、教科書教材をより深く理解して授業を展開したい、発展的な教材を求めたい、他の領域分野・前後の校種とのつながりやデジタル機器の活用の仕方を知りたいなど、本書を手にとられる方の要望に応えられる事例を紹介しています。二次元コードからワークシート例や実際の作品などを視聴できる事例もあります。

本書が幼児から高校生、先生方の創造的な音楽活動に生かされますように！

監修 石上則子

KYOGEI
株式会社
教育芸術社
〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14
TEL. 03-3957-1177(販売部直通)
FAX. 03-3957-9223
URL. <https://www.kyogei.co.jp/>



●取扱店

(2026.7)

生き生きと学び合い、 深い学びへと導く1冊です



定価 **2,750円** (本体2,500円+税10%)
AB判(210mm×257mm)／160ページ
ISBN 978-4-86779-129-5
JAN 4520681440293

「音楽づくり・創作」の
授業デザインシリーズの
詳細はこちらから！



待望の**第2弾**
令和8年
10月発売

教育芸術社

石上則子 監修

- 「音楽づくり」や「創作」の授業で、子供たちの創造性をもっと伸ばしたい。
- オリジナリティのある教材で、学習内容を深掘り・発展させてみたい。
- 校種連携や教科横断的なカリキュラムを模索していて、なにかヒントがほしい。



本書のねらい

- 子供たちの創造性や発想力を育む。
- 幼保・小・中・高の学びの連続性が分かる。

第1章のポイント

「指導要領等に書かれていること」や「そこに込められた思い」を解説しています！

- 「即興的に表現すること」と「音を音楽へと構成すること」との関係性
- 学びをつなげる「常時的な活動」、学びを深める「評価」とは？
- 校種間の学びの連続性、積み重ねの大切さ
- ICTの活用に欠かせない視点
- カリキュラム・マネジメントの視点で捉える音楽の授業

第2章のポイント

① 幼少期から高等学校まで幅広い実践事例を紹介

幼稚園・保育園の音あそびや歌あそびから、小学校の「音楽づくり」、中学校・高等学校の「創作」の学習まで、さまざまな実践事例を紹介しています。

事例の
一覧は
こちら



幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校
歌や声を使った事例 ……2 楽器を使った事例 ……2	常時的な活動例 ……6 題材における展開例 ……12	常時的な活動例 ……1 題材における展開例 ……5	題材における展開例 ……2

②授業の様子や子供たちの具体的な姿が見える

▶ 小学校と中学校では、「**常時的な活動**」の例として、授業開始時の短時間でも扱えるような事例を紹介しています。

第2章 「音楽づくり」創作の指導事例

宿時的な活動

小学校
第1・2学年

こねや、リズム、せんりつで あそぼう

活動による学び

活動① 拍によらず自由に声の出し方を探り、声の多様な表現を見いだす。声遊びの中で、呼びかけとこたえ、反復に気付く。

活動② 拍を意識して、「合わせる」感覚を培いながら、リズム遊びを通して、様々なリズム表現を身に付けたり表現する多様な音楽材に気付いたりする。呼びかけとこたえをもとにリズムで友達と関わる。

活動③ 音の高さをつかみながら繰り返し旋律楽器に親しんだりすこたえで旋律をつくる面白

本活動で主に扱う音楽を形づけている要素

音色 リズム 旋律 拍 反復 呼びかけとこたえ

活用する題材や関連する学習内容

*1 音色や反復、呼びかけとこたえを中心とした学習

<活動①>

[本書 題材1、2]

すぐに授業に活用できる、
実践的なアイデアやポイントが満載！

活動
1

こねでまねっこ、よびかけっこ

⑦挨拶の言葉で<3分>

⑦教師の挨拶の言葉を学級全体、グループ、一人一人など形態を変えて模倣する。

よお！は！よう～

よお！は！よう～

先生とそっくり！はっきりした声で、挨拶できますね。今度は、グループごとにまねっこしてください。

④ペアやグループで模倣し合ったり、互いに呼びかけ合ったりする。

おはよう

おはよう

Aちゃんは、ひそひそ話のような声だね！私たちは、どうする？

<活動①のポイント>

- 音楽の授業の開始
- 声の表現を展開する授業
- 呼びかけとこたえや反復に気付く
- 声の出しづらいう学級の支援

※詳細は二次元コード参照

⑦五十音や身近な生き物、果物などの名前で<6分>

⑦⑦に加えて、速度や強弱、高さや表情を変えて表現する。

カレ~~~~~ライス

カレ~~~~~ライス

辛そうな言い方だね。いつもの先生の声より高い！

④言葉を決め、繰り返す声によって、好きなところでペアで1回声を出す。慣れたら教師の代わりも子供が行う。

10回「カレー」を繰り返すので、ペアで差し方を考えて好きなところに入ってください。

C(子供)： ライス ライス ライス (声の高さや強さ、表情を変えながら)

T(教師)：4/4 カレー・・ | カレー・・ | カレー・・ | カレー・・ | ~

小さな活動の積み重ねを通して、発想力や音楽の力を身に付けていきます。

小さな活動の積み重ねを通して、発想力や音楽の力を身に付けていきます。



▶ **題材における展開**の事例については、指導案形式で紹介しています。

[illegible]

Webアプリ（カトカトーン）
の活用法や、作品の記録・共
有による学びの可視化など、
ICT活用のポイントを紹介し
ています。

[illegible]

評価する際のお役立ち情報として、「Aと判断するポイント」や「Cになりそうな子供への支援」をしっかりと表記しています。

各展開例の最後には、隣接学年や他校種の学習や活動とのつながりを示し、**学びの連続性・系統性が見えるように**しています。

※紹介している紙面や内容については、変更される場合があります。